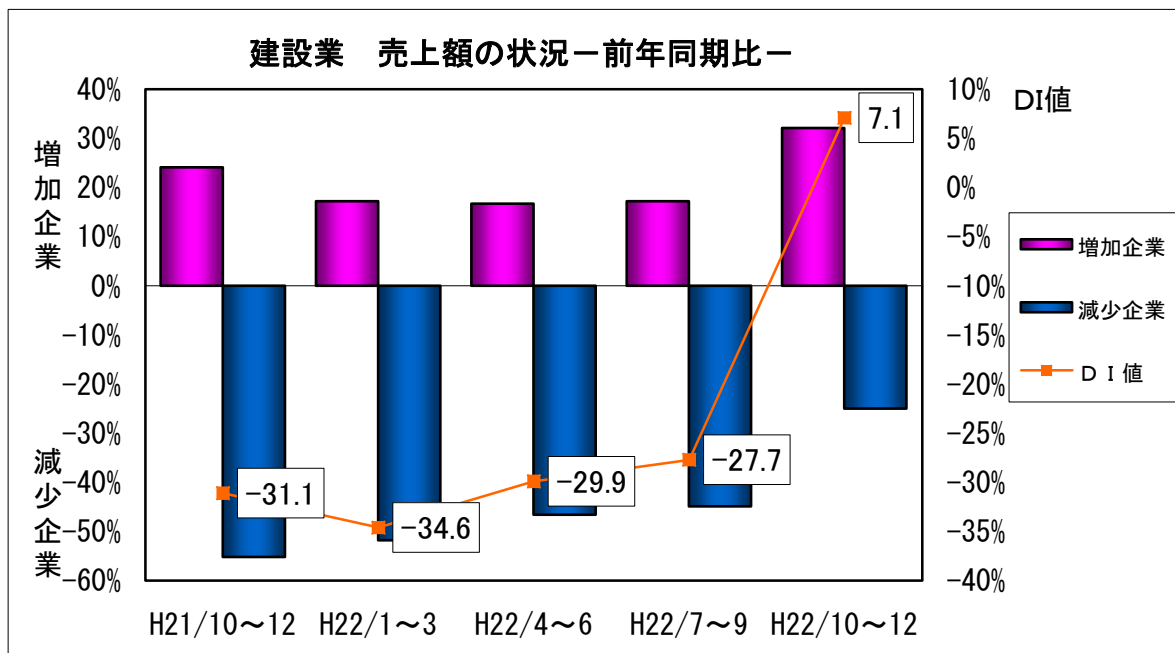




(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

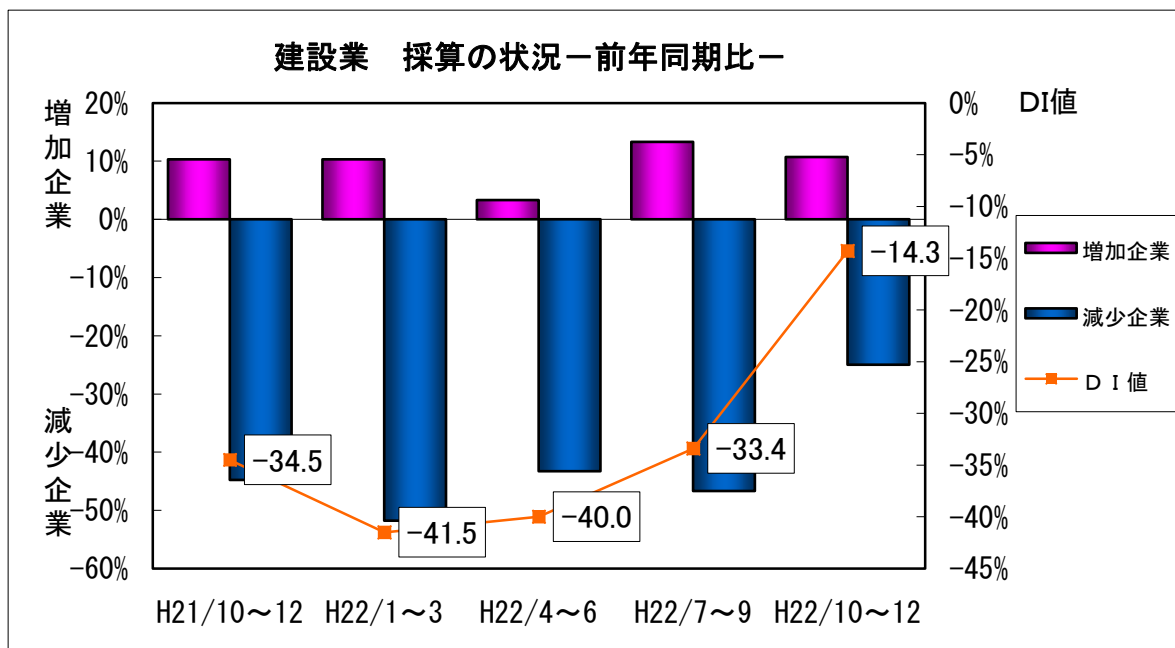
①完成工事額 (前年同期比)

今期の完成工事額DI値は、7.1。前期のマイナス27.7から39.8ポイント上昇、大幅な回復。来期はマイナス29.6と再び大幅な悪化の見込み。



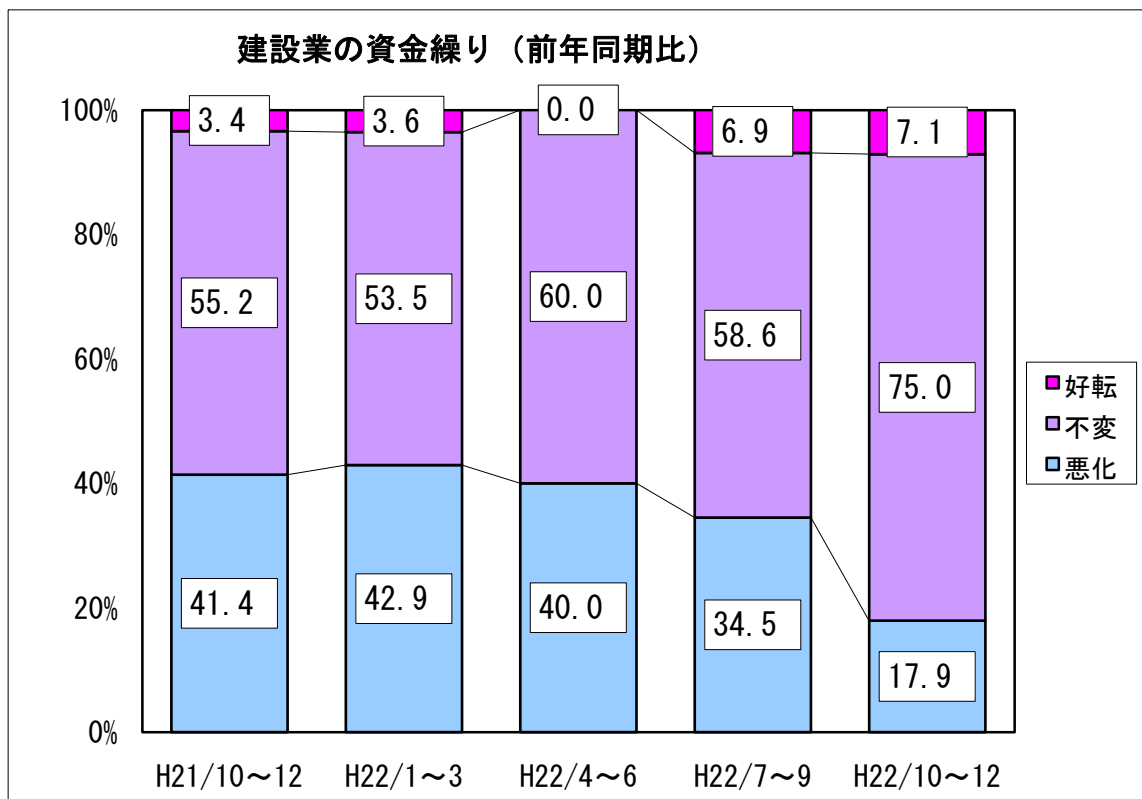
②採算 (前年同期比)

今期の採算DI値は、マイナス14.3。前期のマイナス33.4から19.1ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス22.2と悪化の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 10.8。前期のマイナス 27.6 から 16.8 ポイント上昇、大幅な回復。来期見通しは、マイナス 14.8 と小幅な悪化の見込み。

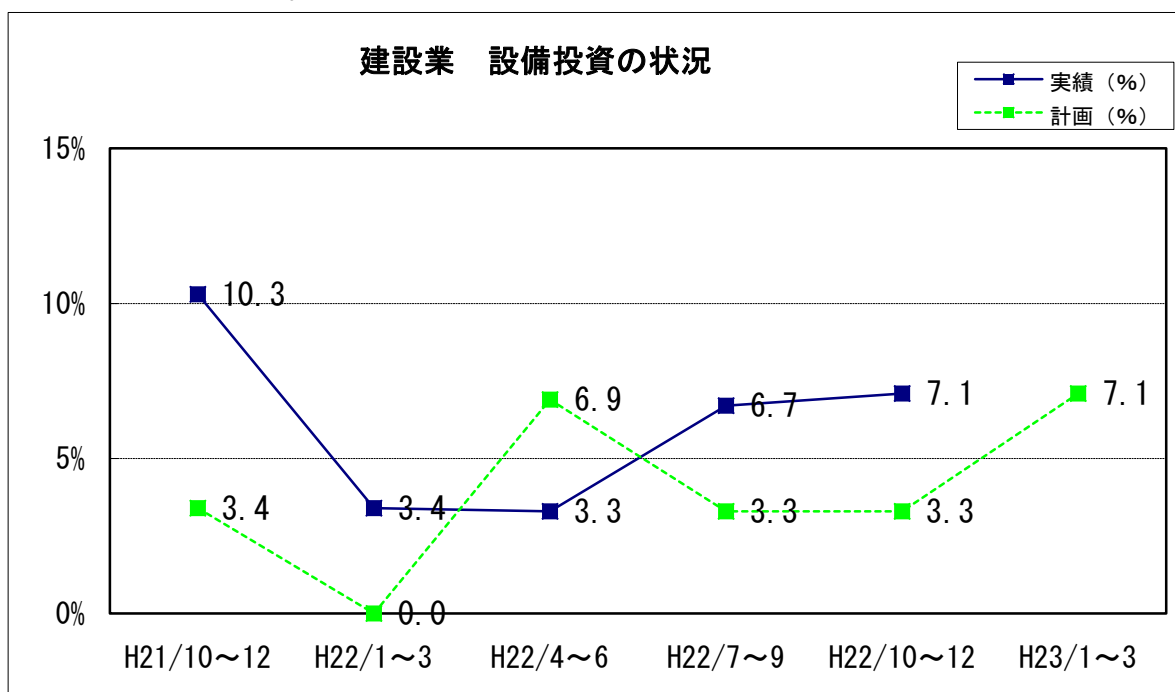


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

|           | あり  | 投 資 内 容 |     |          |            |          |          |                |      | なし   |
|-----------|-----|---------|-----|----------|------------|----------|----------|----------------|------|------|
|           |     | 土 地     | 建 物 | 建設<br>機械 | 車両・<br>運搬具 | 付帯<br>施設 | OA<br>機器 | 福 利 厚<br>生 施 設 | その他  |      |
| 前期実施 (実数) | 2   | 0       | 0   | 0        | 0          | 0        | 1        | 0              | 1    | 28   |
| (%)       | 6.7 | 0.0     | 0.0 | 0.0      | 0.0        | 0.0      | 50.0     | 0.0            | 50.0 | 93.3 |
| 今期実施 (実数) | 2   | 0       | 0   | 1        | 1          | 0        | 1        | 0              | 0    | 26   |
| (%)       | 7.1 | 0.0     | 0.0 | 50.0     | 50.0       | 0.0      | 50.0     | 0.0            | 0.0  | 92.9 |
| 来期計画 (実数) | 2   | 0       | 0   | 1        | 1          | 0        | 0        | 0              | 0    | 26   |
| (%)       | 7.1 | 0.0     | 0.0 | 50.0     | 50.0       | 0.0      | 0.0      | 0.0            | 0.0  | 92.9 |

今期設備投資を実施した企業は2社（7.1%）。前期（平成22年7～9月期）の実施企業2社（6.7%）と同数で横ばい。来期も2社（7.1%）が、建設機械、車両運搬具への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 78.6%→今期 73.1%)
- ・ 「請負単価の低下、上昇難」 (前期 35.7%→今期 42.3%)
- ・ 「官公需要の停滞」 (前期 46.4%→今期 42.3%)
- ・ 「取引条件の悪化」 (前期 39.3%→今期 34.6%)

となっている。

